

平成26年度食品試験検査の実施結果について

1 県内産農産物の残留農薬検査

(検査実施機関：一般財団法人茨城県薬剤師会検査センター)

県内で生産された23品種70検体の農産物を卸売市場などから収去し、106項目の農薬について試験検査を実施した結果、大葉1検体から残留基準値を超える農薬が検出されたため、関係機関と連携し、再発防止のために生産者の指導を図りました。

【検査結果】

検査対象農産物	不適検体数	備考
70検体(23品種)	1	検査対象農薬：106項目

(検査対象農産物とその検体数の内訳)

メロン3, にんじん4, トマト4, ピーマン2, 大葉2, カボチャ2, ねぎ2, なす4, きゅうり4, すいか4, とうもろこし4, 日本なし4, レタス4, キャベツ4, かんしょ3, はくさい4, ごぼう2, だいこん2, ほうれんそう4, 春菊2, 水菜2, れんこん2, ブロッコリー2

2 県外産農産物の残留農薬検査

(検査実施機関：衛生研究所)

県外で生産された農産物6品種20検体をスーパー等から収去し、107～134項目の農薬について試験検査を実施した結果、基準値を超えて不適となったものはありませんでした。

【検査結果】

検査対象農産物	不適検体数	備考
20検体(6品種)	0	検査対象農薬：107～134項目

(検査対象農産物とその検体数の内訳)

キャベツ5(岩手県, 群馬県産), だいこん4(北海道産), にんじん4(北海道産), レタス3(長野県産), きゅうり2(宮城県, 山形県産), トマト2(山形県, 千葉県産)

3 輸入野菜の残留農薬検査

(検査実施機関：衛生研究所)

県内に流通する輸入野菜10品種50検体をスーパー等から収去し、99～132項目の農薬について試験検査を実施した結果、基準値を超えて不適となったものはありませんでした。

【検査結果】

検査対象農産物	不適検体数	備考
50検体(10種類)	0	検査対象農薬：99～132項目

(検査対象農産物とその検体数の内訳)

ブロッコリー9 (アメリカ・中国・エクアドル産), パプリカ5 (ニュージーランド・韓国・オランダ産), かぼちゃ7 (中国・メキシコ産), アスパラガス5 (オーストリア・メキシコ産), 未成熟インゲン7 (タイ・オマーン産), にんじん4 (中国産), ほうれんそう5 (中国・台湾産), トマト5 (アメリカ・イタリア産), ピーマン2 (中国産), 未成熟エンドウ1 (中国産)

4 農産物漬物の試験検査

(検査実施機関：衛生研究所)

県内で製造される漬物50検体を漬物製造業者等から収去し、理化学・細菌検査を実施した結果、不適となったものはありませんでした。

【検査結果】

検査対象	検体数	不適検体数	検査項目
農産物の漬物	25検体	0	ソルビン酸・ソルビン酸カリウム
	25検体	0	大腸菌・腸炎ビブリオ

(検査対象食品の内訳)

塩漬け, 醤油漬け, 浅漬け等

5 輸入食品の試験検査

(検査実施機関：衛生研究所, 県西食肉衛生検査所)

海外から輸入された, 下表の食品について理化学・細菌検査を実施した結果, 不適となったものはありませんでした。

【検査結果】

食品	かんきつ類	乾燥果実	煮豆	ワイン	菓子
検査項目	残留農薬	漂白剤	漂白剤	酸化防止剤	指定外添加物
検査検体数	25	9	3	23	62
不適検体数	0	0	0	0	0

農産物漬物等	食肉製品	清涼飲料水	冷凍食品	容器包装詰め加圧加熱殺菌食品	農水産物等の加工品
保存料	細菌検査	細菌検査	細菌検査	細菌検査	衛生検査
37	15	19	52	2	20
0	0	0	0	0	0

食肉	エビ	はちみつ	香辛料	合計
動物用医薬品	動物用医薬品	抗生物質	芽胞数検査	
50	25	20	3	365
0	0	0	0	0

【検査結果の詳細】

(1) 輸入かんきつ類の有機リン系残留農薬検査 (衛生研究所)

検査対象	検体数	結果	原産国
グレープフルーツ	10	適合	アメリカ
オレンジ	8	適合	アメリカ, オーストラリア
レモン	7	適合	アメリカ
合計	25		

(検査項目)

有機リン系農薬 11 成分 (クロルピリホス, フェニトロチオン, マラチオン等)

(2) 添加物 (二酸化イオウ, 亜硫酸塩) 検査 (衛生研究所)

検査対象	検体数	結果	品名	原産国
乾燥果実	9	適合	マンゴー, プルーン, オレンジピール	アメリカ, フィリピン, タイ
煮豆	3	適合	金時豆, ひよこ豆, 白花豆	中国, イタリア
ワイン	23	適合	赤, 白	アメリカ, イタリア, ドイツ, スペイン, ポルトガル等
合計	35			

(3) 指定外添加物 (TBHQ) 検査 (衛生研究所)

検査対象	検体数	結果	品名	原産国
菓子	62	適合	クラッカー, クッキー, ポテトチップス, ビスケット等	アメリカ, 中国, 韓国, マレーシア, ブラジル, フランス等

(4) 農産物漬物等の保存料 (ソルビン酸及びソルビン酸カリウム) 検査 (衛生研究所)

検査対象	検体数	結果	原産国
農産物漬物	3	適合	中国, タイ
漬物原材料 (塩漬農産物)	25	適合	中国, タイ, 韓国, インドネシア
ワイン	8	適合	オーストラリア, スペイン, イタリア, チリ, ギリシャ, フランス
ジャム	1	適合	台湾
合計	37		

(5) 食肉製品・清涼飲料水・冷凍食品の細菌検査 (衛生研究所)

検査対象	検体数	結果	原産国
食肉製品	15	適合	アメリカ, 中国, ニュージーランド, タイ,
清涼飲料水	19	適合	アメリカ, フランス, スペイン, タイ, モンゴル, ブラジル, スウェーデン等
冷凍食品	52	適合	アメリカ, タイ, 中国, ニュージーランド, ペルー, エクアドル
容器包装詰加圧加熱殺菌食品	2	適合	イタリア, タイ
合計	88		

(6) 残留動物用医薬品検査 (県西食肉衛生検査所)

検査対象		検体数	結果	原産国
食肉	牛肉	15	適合	アメリカ, オーストラリア, ニュージーランド
	豚肉	20	適合	アメリカ, イタリア, カナダ, フランス, メキシコ
	鶏肉	15	適合	ブラジル
エビ		25	適合	アルゼンチン, インド, インドネシア, 中国, ベトナム
はちみつ		20	適合	アメリカ, アルゼンチン, スペイン, 中国, ハンガリー, ニュージーランド等
合計		95		

(7) 農水産物加工品等の衛生検査 (大腸菌群数) (衛生研究所)

検査対象	検体数	結果	原産国
野菜類・果物加工品	12	適合	アメリカ, 中国, イタリア, ギリシャ, スペイン
魚介類加工品	4	適合	中国, タイ
その他の食品	4	適合	アメリカ, 台湾, 中国
計	20		

※判定：大腸菌群数が300個/g未満を適合と判定しました。

(8) 芽胞数検査 (衛生研究所)

検査対象	検体数	結果	原産国
香辛料 (食肉製品原料)	3	適合	ドイツ

※1g当たりの芽胞数が1,000以下を適合と判定しました。

食品, 添加物の規格基準 (昭和34年12月28日厚生省告示第370号) では, 食肉製品, 鯨肉製品及び魚肉ねりの製造基準において, 「製造に使用する香辛料, 砂糖及びでん粉は, その1g当たりの芽胞数が, 1,000以下でなければならない。」と規定されています。

6 食肉の試験検査

(検査実施機関：衛生研究所)

食肉及び食肉加工品の計120検体について, カンピロバクター, サルモネラ属菌, 腸管出血性大腸菌等の食中毒起因菌による汚染状況の検査を実施した結果, 鶏肉6検体からカンピロバクター属菌, 8検体からサルモネラ属菌, 7検体からカンピロバクター属菌及びサルモネラ属菌が検出されました。

これらの病原細菌が検出された食肉は, 加熱調理用及び加工処理肉のみですので, 喫食に際しては, 十分に加熱して召し上がってください。

【検査結果】

菌種等 鳥獣の種類等		検体数	検出数(検出率)							
			カンピロバクター属菌		サルモネラ属菌		カンピロバクター属菌・サルモネラ属菌		腸管出血性大腸菌 (O157, O111, O26)	腸内細菌科菌群
鶏肉	加熱調理用	38	6	15.8%	8	21.1%	6	15.8%		
	加熱調理済品	36	0		0		0			
	加工処理肉	2	0		0		1	50.0%		
	小計	76	6	7.9%	8	10.5%	7	9.2%		
牛肉	生食用	2	0		0		0		0	0
	加熱調理用	22	0		0		0		0	
	加熱調理済品	6	0		0		0		0	
	加工処理肉	12	0		0		0		0	
	小計	42	0		0		0		0	0
馬肉	生食用	2	0		0		0			
合計		120	6	5.0%	8	6.7%	7	5.8%	0	0

7 食品中の動物用医薬品試験検査

(検査実施機関：県北・県南・県西食肉衛生検査所)

県内産の牛肉，豚肉，鶏肉等の計302検体について，動物用医薬品の検査を実施した結果，残留基準値を超えて不適となったものはありませんでした。

【検査結果】

検体	牛肉	豚肉	鶏肉	鶏卵	はちみつ	計
検査検体数	61	119	69	43	10	302
不適検体数	0	0	0	0	0	0

(検査項目)

動物用医薬品(抗生物質，合成抗菌剤，内寄生虫用剤)

8 二枚貝のノロウイルス等試験検査

(検査実施機関：衛生研究所)

県内で採取された「二枚貝」50検体について，ノロウイルスの試験検査を実施した結果，2検体からノロウイルスが検出されました。

ノロウイルスが検出された岩かきについては、同一ロット品が生食用として流通しないよう措置を講じました。

【ノロウイルスの検査結果】

食品区分等	産地	海域	検体数	結果
岩かき	茨城県	大洗海域	3	全て不検出
		大津海域	10	1検体から検出
		那珂湊海域	10	全て不検出
		鹿島灘海域	15	1検体から検出
はまぐり		大洗海域	6	全て不検出
ホッキ貝		大洗海域	6	全て不検出
合計			50	

9 生食用鮮魚介類の試験検査

(検査実施機関：衛生研究所)

県内に流通する生食用の鮮魚介類24検体をスーパー等から収去し、成分規格の検査を実施した結果、不適となったものはありませんでした。

【検査結果】

検査対象	検体数	不適検体数	備考
生食用の鮮魚介類	24検体	0	腸炎ビブリオの最確数

(検査対象食品の内訳)

刺身(マグロ, タイ, サーモン, カツオ, ホタテ, イカ 等)

10 遺伝子組換え食品の試験検査

(検査実施機関：衛生研究所)

県内の食品製造業者から、大豆加工食品の原料大豆を計10検体収去し、遺伝子組換え大豆の検査を実施した結果、いずれも遺伝子組み換え大豆が規定割合以上に混入しておらず、その大豆を原料とした加工食品の原料大豆に係る表示が、全て適正であることが確認されました。

【検査結果】

検査対象	検体数	表示不適検体数	検査項目
大豆加工食品の原料大豆	10	0	遺伝子組み換え大豆 (ラウンドアップレディ大豆)

1 1 魚介類の水銀・PCBの試験検査

(検査実施機関：一般財団法人茨城県薬剤師会検査センター)

県内で採取された魚介類25検体について、環境汚染物質である水銀及びPCBによる汚染の有無の検査を実施した結果、厚生労働省が定める暫定基準値を超えるものはありませんでした。

【検査結果】

検査対象	検体数	不適検体数	検査項目
淡水魚介類	6	0	水銀, PCB
近海魚介類	19	0	水銀, PCB
計	25	0	

(検査対象魚介類の内訳)

- ・淡水魚介類（採取：霞ヶ浦，北浦，涸沼）
ワカサギ，シジミ，シラウオ
- ・近海魚介類（採取：大洗海岸，日立沖，那珂湊沖，鹿島灘，鹿島灘沖）
ヒラメ，アナゴ，カレイ類，ホウボウ，スルメイカ，マアジ，サバ，タイ類，エビ，イワシ，ハマグリ

1 2 アレルギー物質食品試験検査

(検査実施機関：衛生研究所，一般財団法人茨城県薬剤師会検査センター)

加工食品78検体について、アレルギー特定原材料に由来するアレルギー物質の有無及び含有している場合の表示の適否を検査したところ、不適となったものはありませんでした。

【検査結果】

検査項目 (特定原材料)	検体数	表示不適 検体数	検査品目
乳	10	0	菓子類，清涼飲料水，食肉製品 等
卵	15	0	菓子類，豆腐，食肉製品，乳製品 等
小麦	20	0	菓子類，そうざい，乳製品 等
そば	20	0	菓子類，そうざい，めん類 等
落花生	8	0	菓子類，そうざい 等
甲殻類	5	0	豆腐，食肉製品，冷凍食品 等
計	78	0	

1 3 給食施設衛生管理検証事業

(実施機関：各保健所)

学校、病院及び社会福祉施設等の給食施設において、手指や調理器具などの計2,474箇所のアTPふき取り検査を実施し、清浄度についての衛生指導を行いました。

【拭取り検査結果】

検査対象施設	施設数	検体数	検査項目
給食センター	8	130	A T P
学校給食（単独校）	35	351	
幼稚園・保育所給食	81	812	
病院・社会福祉施設	110	1100	
その他	8	81	
計	242	2,474	

1 4 輸入加工食品の残留農薬試験検査

(検査実施機関：衛生研究所)

県内に流通する輸入加工食品の計50検体について収去し、有機リン系農薬42項目について検査した結果、不適となったものはありませんでした。

【検査結果】

検査対象	検体数	食 品	主な輸出国
缶詰食品	26	果実シラップ漬、野菜水煮等	中国、イタリア、タイ、トルコ、オーストラリア、インドネシア、南アフリカ共和国、フィリピン、アメリカ
瓶詰食品	2	きゅうり酢漬、栗甘露煮	インド、韓国
野菜・豆の水煮 (缶・瓶詰除く。)	18	たけのこ水煮、ふき水煮、れんこん水煮等	中国、タイ
漬物 (缶・瓶詰除く。)	3	きゅうり漬、らっきょう漬	中国
その他	1	むき甘栗	中国
計	50		

(検査項目)

有機リン系農薬42成分（メタミドホス、ジクロロポスなど）

15 加工食品の放射性物質試験検査

(検査実施機関：衛生研究所，環境放射線監視センター)

県内に流通する加工食品の計176検体について収去し，放射性物質（Cs-134及びCs-137）について検査した結果，不適となったものはありませんでした。

【検査結果】

食品区分	検体数	検査結果	主な品目
飲料水	1	全て適合	ミネラルウォーター類
牛乳	9	全て適合	牛乳，乳飲料
乳児用食品	3	全て適合	乳児用菓子，乳児用麦茶飲料
一般食品	163	全て適合	豆腐，豆腐加工品，菓子，乳製品，緑茶飲料，麦茶飲料，清涼飲料水，納豆，こんにゃく，そうざい，漬物，ソース類，魚介類加工品，ドレッシング，みそ，野菜加工品，めん類，しょうゆ等
計	176	全て適合	